

道徳だより

令和7年11月
七塚小学校
校長 奥 健一
4年生担当

今回は、4年生の授業の様子についてお伝えします。

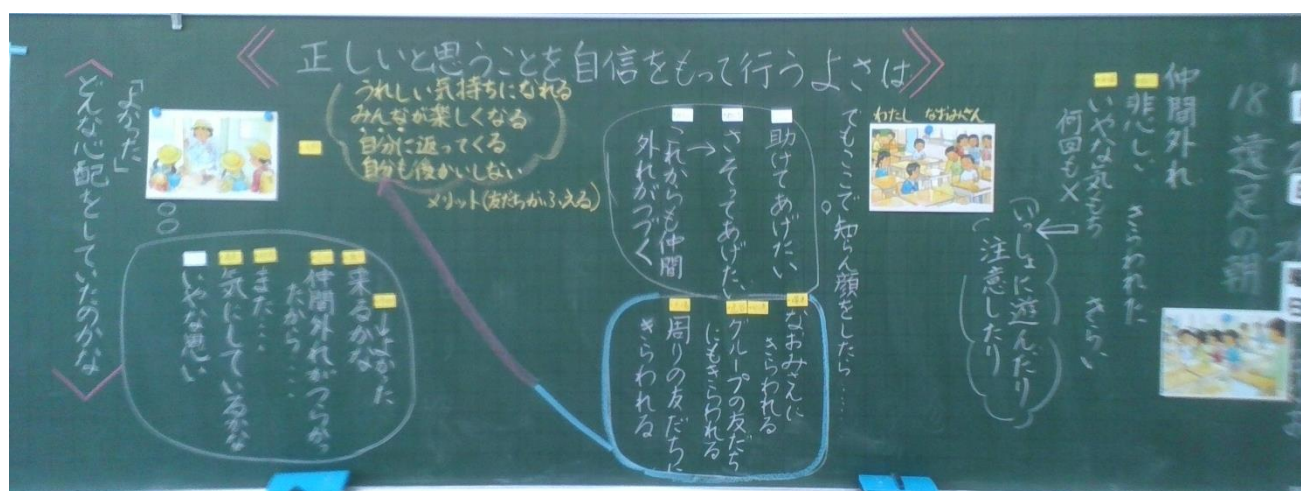


主題名：勇気をもって

教材名：「遠足の朝」

《ねらい》正しいと判断したことを自信をもって行えたときには、やってよかったという自信や喜びが生まれることに気づき、よいと思うことを進んで行うための判断力を育てる。

《あらすじ》遠足の前日グループ決めをしていると、いつもの仲良しグループからはじきだされてひとりぼっちになっている「なおみさん」がいました。「わたし」はその友達に声をかけようか迷います。自分のグループの友達がいやがるかも・・・もともと仲が良かった人たちからにらまれるかも・・・でも声をかけて自分のグループに誘いました。翌日「なおみさん」が元気に学校に来てくれて一安心したという話。



教師の問いかけ

正しいと思うことを自信をもって行うよさってどんなところなのかな



- みんながうれしい気持ちや楽しい気持ちになれる（友達が増える）
- 自分に返ってくると思う（自分が困ったときに助けてくれる）
- 行動すればよかったと後悔しない（遠足中も気になってしまう）



（児童のふり返り）

- もし、自分が「わたし」みたいになったらすぐに声をかけたい。もし、なおみさんをさそわなかったら、なおみさんが悲しくなったり、学校がきらいになったりするかもしれないから、困っている人とかに声をかけたいと思った。
- 人のために行動することは相手にも自分にもいいことがあるということがこの時間でよく分かりました。正しいと思うことを自信をもって進んでやっていきたいと思いました。
- もしだれかが仲間外れにされていたら正しいと思うことを自信をもって行いたいです。仲間外れはとても駄目なことが分かりました。「わたし」みたいな人になりたいです。

授業を通して、子供たちは正しいと思うことを自信をもって行う良さについて深く考えていました。相手のことを考えることはもちろん、みんなが気持ちよく過ごせるようにしたいという思いを高めていました。